

平成30年度第2回稲沢市総合教育会議 会議録

1. 日 時 平成31年2月14日（木）午後1時30分～2時45分

2. 場 所 稲沢市中央図書館 研修室

3. 出席者

市 長 加藤 錠司郎

教 育 長 恒川 武久

教 育 委 員 藤 田 美知子 野 村 春 子

・ 川 繁 樹 小 川 仁 美

教 育 部 長 遠藤 秀樹 教育部調整監 服部 清久

部次長兼生涯学習課長 岩田 勝宏 庶務課長 榊山 隆夫

学校教育課長兼指導主事 吉田 雅仁 学校教育課統括主幹兼指導主事 吉田 剛往

スポーツ課長 長崎 真澄 図書館長 前橋 桂子

美術館長 山田 美佐子

庶務課主幹 長谷川 隆 書記 庶務課 山田 菜摘

4. 欠席者

教 育 委 員 内藤 晶仁

5. 傍聴人の数 6人

6. 協議・調整事項

(1) 教育施策（平成31年度予算案）の主な事業について

①給食基本計画策定業務委託について

②小学校外国語教育推進事業について

③部活動指導員配置事業について

7. その他

## － 開 会 －

### ●庶務課長

みなさん、こんにちは。定刻になりましたので、平成30年度第2回稲沢市総合教育会議を開会します。進行を務めさせていただきます榊山と申します。よろしくお願いいたします。初めに加藤市長からご挨拶申し上げます。

(市長あいさつの後)

### ●庶務課長

ありがとうございました。それでは協議事項に移りたいと思います。本会議は稲沢市総合教育会議設置要綱第5条第1項の規定により市長が議長を務めることとなっておりますので、会議の取り回しについては、市長にお願いいたします。

### ◎市長

規定でありますので、議長を務めさせていただきます。進行に御協力をお願いいたします。それでは、協議事項に入ります。「教育施策（平成31年度予算案）の主な事業について」、それぞれ担当課から説明をさせ、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。初めに、庶務課から「給食基本計画策定業務委託について」お願いします。

### ●庶務課長

(別添の資料により説明)

### ◎市長

庶務課からの説明が終わりました。この給食基本計画策定業務というのは、先ほど課長が説明したように物・人・金といたしましたけれども、物という点では、いわゆる学校の給食の施設、人という点では、現業職の不採用をしております。平成20年4月1日に3名を採用した以降は、給食の調理員を正規職員採用とはいたしておりません。平成19年の稲沢市定員適正化計画の中でも外部委託を推進するということで進めております。平成20年3月にも技能労務職等の給与等の見直しに向けた取組指針で、対象となる職種は原則として退職不補充として、人件費の抑制に繋げていきたいということも指針として定めておりますし、平成25年7月にも定員適正化計画、これは平成29年度まででございますが、技能労務職については、原則として退職補充を行わないということにしております。そして平成26年1月には委託化に関する方針を決めておきまして、委託効果が大きく当面改修の計画等がない給食センターを優先し、平成27年度より学校給食センターを委託するという事で以後順次委託を進めていくという方針も打ち出しております。そして平成26年3月の市長の施

政方針の中では、学校給食業務の効率化、安全性の確保及び経費の削減の観点から調理業務の委託を段階的に進めるとしているものでございます。

こういった人の面、施設の面、施設については先ほど課長から説明があったとおりでございます。そしてもう1つは監査委員さんなどから非常に強く言われておりまして、現在先生方の多忙化の原因の1つにもなっております、給食費徴収の問題がございまして、これについて基本的には公会計化を進めるといふ、公の会計で各学校が介在せず、保護者と市との関係だけにすることによって、教職員の多忙化も解消できるのではないかということで、教育委員会が作られました「稲沢市教員の多忙化解消プラン」、一昨年の平成29年12月であります、こういったことも策定をしているところでございます。そのような問題があつて今回の業者に委託して、給食基本計画を策定しようとなつたわけでございます。

これにつきまして、委員の皆様方のご意見をお聞きしたいと思います。委員どうでしょうか。

○委員

それではお願いいたします。まず一番、今のご説明にもあつて早期実現していただきたいのは、給食会計のいわゆる市が全小中学校をやっていただきたいということです。今それぞれ自校方式のところは、私会計という各学校で徴収して色々やっておりますが、この負担というのは、やはりセンター方式の学校とかなり大きな違いがあるということを感じておりますので、ぜひ早期実現をお願いしたいなということを思います。あとですね、やはり給食で一番大切なのは、安全・安心ということで今は効率化、委託化が進められている中でこのところはぜひきちんと対応していただけたら、ありがたいと思います。

◎市長

ありがとうございました。そのほかに委員いかがですか。

○委員

色々難しい部分があるなと思ひました。その中で分からないので教えていただきたいのですが、この委託するというのは、自校方式調理場とそれからセンター方式共同調理場の部分を委託をするということによろしいでしょうか。親子方式共同調理場については、施設はまだ新しいと思うのですが、どうでしょうか。

●庶務課長

人の面の委託と理解していただければと思います。計画を委託で出すのではなく、その調理業務を委託するのはどういったところかということですね。今

説明させていただきましたとおり、現在は祖父江町学校給食センターの調理業務を民間会社に委託をしております。そのほかの自校方式、親子方式のセンター方式につきましては、自前の調理員で調理を行っていただいております。そのことにつきましても、今後センター方式の学校を委託にだすのが良いのか、自校方式の学校を委託にだすのが良いのか、今後正規職員が減っていきますので、今小学校11校、中学校7校が自校方式でやっているのですが、年々正規職員が減っていきまして、現在の運用といたしまして、必ず1人は正規職員を配置し、一対一もしくは一対二という形でおくということに運用させていただいておりますが、毎年正規職員が減っていますので、そういった形の運用が出来なくなる恐れがございますので、そういったことも加味しながら、センターを先に委託するべきか、自校方式を先に委託に出すべきかということも併せて、今回基本計画の中で将来を見据えて、人の面を見据えて検討させていただくということになります。どちらが先か後かということではございませんが、何が一番ふさわしいかということを考えながら、計画を立てさせていただきたいと思っております。

#### ○委員

ありがとうございました。もう一点施設が老朽化してきているというところがまた問題になってきていると思うのですが、こちらの設備等は、今後改善をしていくということは、今回の計画には入っているのでしょうか。

#### ●庶務課長

設備の老朽化につきましても、今回の計画の中で取り組まさせていただきます。大きな学校の建替という話もございますので、そういった話とも絡めながら、また施設の老朽化も含めながら、人の面も含めながら、考えたいなと思っています。物・人・金を絡めながら解決していきたいなと思っています。以上でございます。

#### ◎市長

先ほどもお話がありましたとおり、自校方式の調理場が旧稲沢などでは多いわけですが、ここにおいても現在の給食調理場を建て替えようと思うと、今の基準では、出来ません。建替ではドライ運用という形などは出来ないため、調理場の中ではいわゆる野菜や肉などを受け入れる汚染区域と調理する場所などの非汚染区域の区別をしっかりとしなければいけません。当然面積もたくさんあります。そういったことと校舎の老朽化をどうやって絡めてやるかということも含めて、今回の給食基本計画の中では、考えていかなければいけないのだろうと考えております。子供さんをお持ちの委員はどうお考えでしょうか。

## ○委員

よろしくお願いたします。今のご質問と重複してしまうのですが、現在は自校方式で調理をされている学校に関しては、老朽化もありますけれども、そのまま委託になるというのは、センターで作った物を学校に運んで、そこであたためるなどしながら、配膳までいくのかというその流れがあまりよく分かっていないので教えていただきたいです。

## ◎市長

稲沢東小学校に親子方式の共同調理場がありまして、ここから下津と稲沢西小学校3校でやっているわけです。ここは稲沢市が運営をしております。今あたためると言われましたけれども、今のですと二重食缶とって非常にしっかりと保温が出来る物に入って運ばれますので、そのままあたたかいものが食べられる状況になっております。

そして平和にも学校給食調理場が出来ました。ここは平和の中学校と3小学校、法立小学校、六輪小学校、三宅小学校とありますけれども、3小学校にはここから輸送して、配膳しております。単独で残った市の自校方式が中にあるわけですがけれども、ここについて単独で民間に委託をするか、あるいはそのまま自校方式を続けるのかという問題があると思っています。単独で調理場を建替えて委託する方法と、今まで通り自校でやる方法、あるいはもう一つどこかで共同調理場を作って、そこから配送するという選択肢としてはその3つがあります。そういった中で、どれが最適かということをやはり考えていかなければならない、そのために基本計画を策定したいというそういうことでございます。委員、医師という立場からご意見があればと思います。

## ○委員

自校式ですと、例えば子供達が野菜などを作ってそれを食べるとか、小さいところはそういうこともしてらっしゃいましたけれども、経済性とか人間的なことを考えるならば、全部委託したほうがいいのではないのでしょうか。

その場合は、料理の内容、献立表をどこで作成するか、要するに人員の再編成でやられて、センターとかで委託したほうが経済的には上手くいくのではないかなと思いました。

## ◎市長

ありがとうございました。自校で調理をする良い点は、調理員さんの顔が見える、調理中の匂い・香りが嗅げるなどがありますし、自校方式の方が美味しいなど言われていますが、今は色々改善されてきまして、非常に共同調理でも良くなってきていることも確かですので、先ほどいいましたように1つですね、

大きな問題がございまして、例えば今日、「ギリシャ給食デー」を行うといったのですが、この日はですね、同じようなメニューになると全小中学校だけで1万2000食くらいになるわけですがけれども、同じ材料を納入していただかなければいけなくて、これをどうするか実は今何校かに分けて、班を作って市内の八百屋さんなど納入業者の方に入れていただいております。この方々の問題も一方で抱えておまして、今八百さんが中々生計が成り立たない中で学校給食が無くなってしまうと、果たしてどうかということも言われております。そういう色々な問題を解決する中で、新しい衛生基準あるいはアレルギーのある子供さんへの対応ということも考えていかなければいけないということで、実は非常に大きな課題をいくつか抱えているわけです。それを総合的に業者に委託してですね、計画を立ててもらおうというのが、今回の取組だということに思っていたかと思いますが、ほかにご質問はございますか。

メニューを作るのは、栄養教諭でしたね。

#### ●庶務課長

調理は民間委託に出しても、栄養教諭の方が相談をしながらメニューを作っていましたので、そういった心配はございません。

#### ◎市長

そういうことでございます。色々な組み合わせが考えられます。まだ1つに決めたわけではありませんので、今まで正規の職員、調理員さんが減る部分については、なんとか民間委託でという大雑把な方向性を出しているわけで、細かいことが実は決まっておりませんので、この機会に約15ヶ月くらいかけてですね、こういう計画を立てていきたいということでございますが、皆さんご理解いただけますでしょうか。

それではこの問題につきましては、ここまでとさせていただきたいと思えます。

続いて学校教育課から「小学校外国語教育推進事業について」お願いいたします。

#### ●学校教育課長

(別添の資料により説明)

#### ◎市長

平成32年度から全面実施となる新学習指導要領の外国語活動、一般的には英語教育と言われますけれど、これにつきまして稲沢においては移行期間であります平成31年度4月から始まる新しい年度につきましても、小学校3・4年生では35時間、週に1時間、5・6年生につきましては70時間、週に2

時間ということで本格実施する1年前に同じような時間数で行うという取組で  
ございます。

ごめんなさい、少しここで聞きたいのですが、時間数のところで35時間モ  
ジュール困難、70時間モジュール可というのは、どういう意味ですか。

●学校教育課長

モジュールにつきましては、月曜日から金曜日までの朝の活動の時間ですね、  
朝15分ほど設定してあるのですが、その時間を例えば火曜日と水曜日と木曜  
日15分ずつで45分、小学校の授業1時間が45分ですので、そういった帯  
の時間を設けて、時間を生み出す方法を言います。

◎市長

そうすると小学校5・6年生がモジュール可と記載されていますので、例え  
ば1時間は水曜日3時間目と決めて、後は朝の時間で3日間決めれば可能と考  
えればいいですか。

●学校教育課長

モジュールの時間をどの教科で行うのかというのは、学校の考え方で決めま  
す。英語、外国語をそこへ持っていけるかどうか、45分の時間を分割して、  
実施できる單元かどうかという研究も進めなければならないと考えます。

◎市長

可能であるということで、必ずしもこれでやるわけではないということでは  
ね。今のような説明でございます。大変な時代になってきたなと思うわけですが、  
委員いかがですか。

○委員

時間は良いのですが、講師の先生や教員の配置というのは、できるものでしょ  
うか。

●学校教育課長

小学校23校のうち、英語の免許を所有している教員が配置されない学校が  
4校ございます。19校は、免許を所有している方が配置しております。

実際にさまざまな研修に教員が参加して力量向上に努めています。各学校の  
参加者がその学校の核となって、その学校の英語教育の活動を充実させる現職  
教育を行ったりしております。免許がなくても英語の堪能な先生は見えますし、  
それぞれの各学校での研修を充実させて対応しているというのが現状でござい  
ます。

◎市長

市の予算のことについても話していただけるとありがたいです。

## ●学校教育課長

全ての小学校に稲沢市の予算で非常勤講師を配置しております。この時間数としては、先ほどお話しさせていただいた5・6年生の授業実数に応じての時間数で配置しています。その中で免許を持っている方も持っていない方も見えますけれども、各学校で英語の免許を持った方や得意な方が中心となって担任と共に授業を進めており、非常勤講師がその穴埋めをしています。

### ◎市長

英語専科ではない免許を持っていない方も、色んな研修や講習を受けていただいて、子供達に英語を教えられるレベルになっているというお話でございます。

### ○教育長

説明していただいたとおりなのですが、少し分かりにくいところがあって、予算をつけていただいていることによって、小学校には出来るだけその英語の免許をお持ちの方が一番良いのですが、免許がなくても堪能な方を配置するそのための予算であって、どうしても学校の中で免許を持っている先生がいるけれども、それぞれ担任を持っていただかなければいけないこともあり、英語ではない教科の先生を充てることによって授業を成立させ、充実させていこうということでもありますので、基本的には最初に話がありましたように、先生方で自信がなかったり、不安な方にも「こういう英語の先生が見えるからやっていたらいいんだよ。」ということで、少し余裕のある時間を持っていただいて、次の年から「私もできる」という自信を持っていただけるように先生を配置していくということでございます。その中で質の高い授業を1年前にやるということで、1年前から訓練をしながら慣れていただこうという予算であります。さらに県からも英語の教員を加配してもらっていますので、そういう方も含めて、稲沢市の外国語活動並びに外国語科を充実させていく形をとっておりますので、ご心配なくということでもよろしくお願いいたします。

### ◎市長

県から2名の英語の専科の方の加配を受けているということで、委員どうでしょう。

### ○委員

1つ質問をさせていただきたいと思いますが、5・6年生になりますと2020年度以降70時間の英語教育をしていただけるということですが、現在の時間割から考えるとどういった部分からその時間を確保されるのかなということだけお伺いしたいです。



◎市長

今、週2時間使われるとどこが削られるのかということですが、どうでしょうか。

●学校教育課長

例えばですが、月曜日の6時間目に現在委員会活動やクラブ活動などを実施しているという学校については、そういったところを1時間設けてということが可能かと思います。

◎市長

既に今年度も50時間5・6年生はやっていますので、週に約1.5時間やっているわけですので、もう少しだけ今のようなところで何とか生み出していこうということでございます。よろしいでしょうか。

○委員

私英語は全然出来なくてですね、英語が出来ないことによってとても困っていることもたくさんあります。個人的に卓球の審判をやっておりまして、そういった時に高等な英語は必要ないのですが、やはり簡単な日常会話などそういったものは本当に必要になってきますので、私も実は日本語さえしっかりしていれば英語はそんなに習わなくてもいいんじゃないかと思っていたので、いけなかったのですが、今回このような形になって英語活動がとても必要だなと感じていますので、ぜひ低学年は楽しむところから入っていただいて、まず慣れ親しんでから高学年に少し面白くなったと、そして中学になったら本格的に英語の授業ということやっていけるように考えていただいていると思いますので、指導する先生方の負担にならないような配置とか研修をしていただいで、先生も負担にならない、生徒も楽しく行えるような外国語活動や外国語科になるといいなと感じました。

◎市長

小学校においても研修を積みながら、1年前から早期に取り組んで体制を整えられるということですので、本格実施になる2020年度にはスムーズに授業が行くようにと思っております。委員いかがですか。

○委員

それでは質問をさせていただきながら、意見の方も述べていきたいと思いますが、1つ市としてですね、当然把握していると思うのですが、外国語活動と外国語科とありますが、活動と教科の違いをまずどのようにきちんと把握されているかということ、2つ目は市の予算をつけていただいでですね、たくさんの非常勤を配置していただいでおります。2020年度からは全面実施になっ

ていくわけですが、その移行期間にあたるわけですが、非常勤の堪能な方が教師になって英語の活動を進めていただいている学校、担任がやっている学校とあると思いますが、市の方向性としてはどのように考えているのかお聞かせ下さい。

●学校教育課長

外国語科になるこの違いの部分については、教科としての評価をきちんと出すということが一番の違いです。外国語活動の場合は、評価にしても文章表現で評価をしてまいりました。従って教科として数字・記号等の評価を行うということが違ってきます。市の方向性ということをございますけれども、小学校から中学校、高校までと国の方は繋いでというふうに推進しているわけですが、基本的に稲沢市においては、小学校から中学校に円滑に子供達が楽しく学べる体制を作っていきたいと考えております。市としては、より質の高い教育ということも当然イメージしますので、先生方の研修をすることで指導力を高めること、そして教材の工夫という点でも今現在のデジタル教材を使用しておりますけれども、そういったものを有効に活用することで、稲沢市として子供達が稲沢で英語を学んで良かったと言えるような体制作りを今後進めてまいりたいと思います。以上です。

◎市長

活動と教科は簡単にいうと、通知表で数字でつけないよという違い、2020年度以降はそういうふうになるのですか。

●学校教育課長

3・4年生については、外国語活動でありますので、これまで通りの表記、5・6年生についてはそのように考えております。

◎市長

平成31年度は両方が外国語活動という理解でよろしいでしょうか。

●学校教育課長

はい、そうです。

◎市長

それから国もですね、こういうことを当然分かっているわけで、教員採用その他ですね、英語専科の方を多く採用してくれないですかね。そのあたりはどうですか。

●学校教育課長

国の方は本当に少しずつなのですが、今年度は1名英語の専科の配置、来年度はプラス1名ということで、国の予算が今後どれだけ見込めるかというのは、

まだはっきりしていないところです。愛知県の方に目を向けますと、教員採用試験の中に小学校を受験される方で、英語の堪能な方を優先的に採用する制度が既に始まっております。稲沢市においてもここ数年複数名ずつ採用しておりますので、そういう方面で体制を作っていけるように考えていきたいと思いません。

◎市長

国、県の方に要望の機会がありましたら、私の方から要望していきたいと思しますので、よろしく願いいたします。少し時間が過ぎてしまいましたので、続いて学校教育課の方から部活動指導員の配置事業について説明をお願いいたします。

●学校教育課長

(別添の資料により説明)

◎市長

稲沢市では平成31年度具体的にいうと、大里東中学校と稲沢中学校の2校で合計6名、大里東中学校はサッカー男子、バスケ男子、剣道は男女、それから稲沢中学校では、ソフトボール女子、ソフトテニス女子、バスケ男女の6名の部活動指導員を配置をするという事業に取り組んでいきたいということで、これについては国が3分の1、県が3分の1、市が3分の1で行うという新たな教員の多忙化解消を軸とした考え方で、そういう取組をしていきたいということでございます。それでは委員何かご意見ございますか。

○委員

部活動指導員配置ということで、部活動をやっている子達にとってはありがたいことだと思っております。今現在平成31年度は大里東中学校と稲沢中学校に配置をされるということなのですが、この種目については各学校の校長先生の裁量ということよろしいでしょうかということと、今現在それぞれの学校のそれぞれのクラブに外部コーチという形で入っている方がみえると思うのですが、その外部コーチの方と今回の部活動指導員の違いはなんでしょうか。そのあたりどのように考えてみえるのか教えていただきたいです。

●学校教育課長

まず、1つ目種目についてですけれども、校長の推薦ということで今回3名ずつ推薦がありましたので、配置をするという方向で進めております。

それから2つ目の外部指導者との違いでございますが、役割としましては外部指導者の場合、顧問と連携協力の下で技術指導を行うということで、これまでも稲沢市内においては、校長が認めた方を外部指導者として御協力をいただ

いてまいりました。今回部活動指導員の役割は、技術指導だけでなく国としては1人の顧問として認めるという計画をしております。稲沢市においても、校長の監督の下です、顧問と連携、協力しながら例えば引率業務なども認めていく、そのあたりが今までの技術指導のみでなく、引率そういったものも認めていくという点が違うというところです。これからの制度でありますので、現場の先生方が困るような形では意味がないものですから、あくまで校長の監督の下で行われるもの、顧問と連携してやっていただけるそういう中で役割を果たしていただける、そういう部活動指導員の配置を考えております。

◎市長

市内では外部指導者が23名みえると聞いておりますが、その中でも今話がありましたように技術的な指導だけでなく、引率なども任されるような人材を校長からお願いして、まずそういう方が6名あるというふうにご理解いただければと思います。

○委員

もう1点お願いしたいと思います。顧問の先生方の中には、例えばその部活の専門ではない方が顧問を行っている部活もあると聞いています。今校長の推薦でサッカー、バスケ、剣道それぞれの学校によって違うと思うんですけども、専門ではない方が顧問を行っている部活に外部指導員を配置するというようなことは考えているのでしょうか。

◎市長

顧問が専門のスポーツじゃないようなところに、重点的に部活動指導員を配置するというようなことは考えていますかということです。

●学校教育課長

まず部活動指導員なのか外部指導者なのかというのも考え方がありますが、基本的には校長が必要だということをまず認識すること、これがまず第一だと考えております。市全体で公募して募集をかけて、登録していただいているというそんな市町も中にはインターネット上で検索しますと出てきますが、今現在としては、まず校長が必要だと判断するところを第一として考えていきたいと思います。

◎市長

当然全てでね、自分の得意なスポーツの顧問になれるとは限りませんので、色んな組み合わせを考えていただきたいと思います。委員さん何かございますでしょうか。

## ○委員

本当に先生方の負担を減らすという意味では、この外部指導員というのは大変ありがたいことだなということを思います。もう一つはやはり部活動というのは、子供達にとって本当に楽しみの場であるし、しかも人格形成で非常に大切な役割を果たしていますから、この指導員の方々がですね、技術面だけでなく、やはり人間としてのふれあい、指導方法にも関わってくるとは思います。具体的にはよくテレビに出てくる駅伝の原監督などのような人間関係を作って、生徒達が自主的に活動出来るようなそんな活動であってほしいなと思います。そして先生方も安心してお任せできると、そんなことがこれから進められていくと良いかなと思っております。

## ◎市長

ありがとうございました。要望でよろしいでしょうか。では委員何かございますでしょうか。

## ○委員

私もこの部活動指導員の配置というのは、本当に友好的で有意義なことだなと思っております。今、先生がお話しされたとおり、本当にそのまま同じようなことを考えていたんですけども、やはりとても多感な時期の中学生ではありますので、今の話ですと生徒さんとの関わりがとてもある指導員ということになるので、校長先生が選定をされて、お願いされるということもありましたけれども、生徒さんにとってとても良い方と巡り会えると本当にありがたいことだなと思いました。

## ◎市長

ありがとうございます。校長先生の人格を見抜く目が必要だなということだと思います。9校の校長先生方に教育長からよろしくお伝え下さい。委員何かございますか。

## ○委員

妙なことなんですけれども、やっぱりそのクラブ活動で一生懸命やり、成績を残している部員は、友達関係も上手く団結出来ていますし、そういう意味では教育の一環として大きな部分なのではないかと思います。そういう意味で校長先生の力量というのは、かなり評価されるのではないかなと思います。

## ○教育長

今回の部活動指導員を配置するという事で手を挙げさせていただいて、国・県の予算をつけていただくことになるわけですが、ただ市の方も予算をつけているということでまたよろしくお願ひしたいと思ひます。本当に今お話の

ようにこの部活動というのは、子供にとって青春の1ページなんですね、本当に大事にしていかなければいけないし、またそれに関わる顧問の先生方は、自分の力量とかそういうことは置いといて、そこで満足感などを得るというとても貴重な場所でもあります。この資料にありますように経験がない教員が45%くらいいるということで、そういう人が競技の顧問になっていること、勤務時間が1時間少し増えてきている中で、部活動などのスポーツを社会体育化するという方向も考えられますけれども、それは中々思うようにいかないわけで、生徒達の気持ちを考え、そして思いを叶えられるようにしていくためには、この部活動指導員の配置が一番良いと思い、県や国に手を挙げさせていただきました。先生方の勤務時間が増えてきている中学校の大きな1つの理由が部活動です。でも部活動をやりたい先生もいるわけで、専門的な技術を持ち、そして人間的にも出来た方を校長先生が推薦するわけですが、そういった方が学校に1人でも2人でも増えていくことによって、少しでも部活動が円滑、適正に運用される、さらには先生方の勤務の状態も良くなるということでとても期待しています。来年度以降も、もしそういう需要と供給ではないですが、学校から手を挙げていただくような状況であれば、また市長さん等にもお願いさせていただく中でぜひ方向性を見つけていきたいと思っております。来年度のこの事業が上手くいくことを強く期待しているところでございます。以上です。

#### ○委員

今のお話をお聞きしていて、今現在2校なんですけれども、これはいずれ9中学校全校に配置するという方向で理解してよろしいでしょうか。

#### ●学校教育課長

9中学校全校で配置出来るといいと強く思います。以上です。

#### ◎市長

それでは時間もだいぶ過ぎてまいりましたので、以上で協議を終わりたいと思います。先ほどの部活動指導員の話もそうでありますけれども、子供達本当に発達途上大事なところを小学校・中学校で送るわけですから、先生方の指導あるいは外部からのおいでになる方々の人格もしっかり見定めてですね、教育を行っていただきたいと思っております。皆様からいただきましたご意見、ご提言も今後の参考にさせていただきます。今日は慎重審議いただきまして、ありがとうございました。

これ以降は、事務局お願いいたします。

●庶務課長

市長ありがとうございました。連絡させていただくことは、ございませんので、閉めさせていただきます。これをもちまして、第2回稲沢市総合教育会議を閉じさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

－ 閉 会 －